



書道家
武田双龍



先月の「綺麗な人・イカす人」珠玉の言葉
川上麻衣子

×



第二筆

洗心

川上麻衣子

「洗心と書いて洗心。最近この言葉が好き。すごくいい言葉だなと思っています。日本は水が豊かな国で、みんなお風呂が好きですよね。そんな風に、水のように「流す」ということを日本人は自然に受け入れて、身体もそうなっているんだけど、心だけは洗えない。もともと日本人は、お正月に井戸から新しい水を汲むことから1年が始まっていたというくらいに、「洗う」ということが大事にされてきた。だから、「心を洗う」という言葉は、すごくいいなあと思っているんです。ストレスを貯めないというのもそういうことですよね。ゆっくりお風呂に入るように、1日1日心も洗って、綺麗にしていきたい。そして、翌日は新しい自分ですっきりと目覚める、ということが大事なのかなと。」

武田双龍

「清い風とせらせらと流れる水を想いました。」

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。

<http://so-ryu.com/>